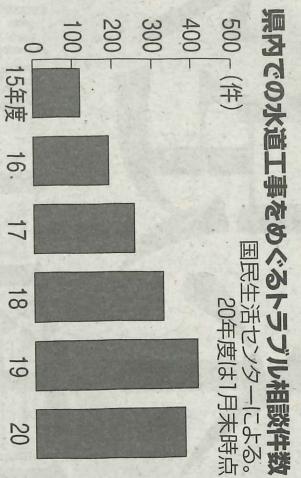


水回り工事 高額請求多発

県内各地で弁護士立ち上げ



トイレや倉所、風呂場など水回りの工事をめぐり、法外な代金を請求されるトラブルが県内で相次いでいる。国民生活センターによると、年度別の相談件数は2016年度から19年度まで全国で最も多かった。被害を食い止めようと、弁護士らは神戸や阪神、姫路の各地域で「悪質水道工事被害対策弁護団」を立ち上げた。

神戸市消費生活センターによると、市内20代女性の宅は昨年7月、トイレの水があふれ、風呂の水も流れにくくなった。ネット検索

ネットで「最安値490円」→40万円

で「最安値490円」という業者に連絡すると、1時間後に女性宅に駆け付け、何も説明しないまま作業を始めたという。「代金は4万円だが、40万円に値引きする。現金で支払うように」。約5時間業者から迫られた。女性は手持ちが10万円しかなく、友人に30万円を借りて支払ったという。

昨年10月には同じく市内の女性が、トイレで砂や砂利が逆流していることに気がつき、修理業者に電話をかけた。やってきた修理業者は高圧洗浄機を使って配管の詰まりを解消し、75万円を請求してきた。現金で支払った。今のは緊急処置。配管が一部壊れています。翌日もうってきた業者は130万円を請求。契約書にサインをする前に消費者センターに相談した。

と、県内で2019年度に関する国民生活センターによる調査から見て、被害に遭った業者は16.1%に相対した。国民生活センターによると、被害に遭った業者は16.1%に相対した。国民生活センターによると、被害に遭った業者は16.1%に相対した。

ネット上で「最安値490円」という業者に連絡すると、1時間後に女性宅に駆け付け、何も説明しないまま作業を始めたという。「代金は4万円だが、40万円に値引きする。現金で支払うように」。約5時間業者から迫られた。女性は手持ちが10万円しかなく、友人に30万円を借りて支払ったという。

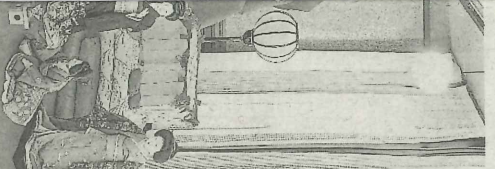
疑者3名現金計218万円を病床使用率で50%未満が7

降支部有志の弁護士7人が対策弁護団を結成。今年2月には神戸地区や阪神地区などの被害者を対象にした弁護団も立ち上げた。「被害には神戸地区や阪神地区

悪質水道工事被害対策弁護団（34件）に次ぐ件数だ。37.8件を数え、東京（5件）と比べても突出している。20年度も1月末時点で37.8件を数え、東京（5件）と比べても突出している。

な人形などが飾られる。飾られているひな人形などは1900年から翌年にかけて作られた。同館の建築主大左衛門が長女の誕生を祝った。ひな人形は92年から公開されている。

近代を代表する米国の建築家フランク・ロイド・ライトが設計した芦屋市山手町の重要文化財、ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）で、13日から恒例の「ひな人形展」が始まる。4月4日まで。



高さは45センチの内裏びなは、桜の刺繍などが施された華やかで目を引く。明治天皇と昭憲皇太后に見立てた人形などが花見を楽しむ「花観人形」も並ぶ。計33体のひ

相談は各地域の弁護士事務所。神戸地区弁護士事務所は「すずらん法律事務所（078・382・0724）、阪神地区事務所は「冠崎あおぞら法律事務所（06・6493・6612）、姫路の事務所は「ひめじ市民法律事務所（079・282・0430）。

近代を代表する米国の建築家フランク・ロイド・ライトが設計した芦屋市山手町の重要文化財、ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）で、13日から恒例の「ひな人形展」が始まる。4月4日まで。